

瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



大治町立大治小学校 加藤英介先生より

本日授業見学および学習補助のボランティアとして来られた大治町立大治小学校の加藤英介先生よりお手紙をいただきました。
紹介します。

ソラン小学校の1年生のみなさんへ

今日は、授業の様子を見せていただきありがとうございました。



いつもの学習とは違いますが、一生懸命受けている姿を見てカッコいいなあと思いました。先生の話聞いて反応していた子、言われなくてもノートに書こうとしていた子、姿勢を良くして集中していた子など、画面越しでも一人一人が勉強しようとする姿がすてきでした。

みなさんの学習する様子を見て驚いたことがあります。それはタブレットを使いこなして、オンライン授業を受けていたことです。画面をタッチして操作したり、発表したりしていましたね。これは、他の学校では、あり得ないことです。きっと、4月から、タブレットに触れたり使ったりして、先生の話をしっかり聞いているからだと思います。また、英語を聞いたり話したりできていることにも驚きました。どの先生の授業も楽しさがいっぱい、毎日受けることができるみなさんがうらやましいです。今日は、見学させていただきありがとうございました。

今日から、コロナ感染拡大による登校自粛期間が始まりました。

大変な状況にあることは間違いありませんし、今後もまだまだ予断を許せる状況ではありません。

ただ、今日の日を過ごしてみて、はっきりと気づいたことがあります。

それは、同じく登校自粛期間があった四月の頃です。

あの時も同じように、一部の子たちは学校に来て、ラーニングコモンズで距離を取りながら、学習をしました。

あれから3か月。

今日の日の様子を見て、きっと驚かなかった先生はいないでしょう。

話の聞き方、授業の受け方、アイパッドの操作技術、書ける字の量、応答の素早さ etc・・・。

同じ状況になったからこそ、あの時との違いや成長がはっきりとわかりました。

人は、なかなか自分の成長や変化には気付けないといいます。

成長や変化はゆったりとしたスピードで進むため、ともすれば何も変わっていないようにも感じがちです。

また、周りの人と自分の姿を見比べる「横のものさし」ばかり見ていると、自分がまるで成長していないという錯覚に陥ってしまうことすらあります。

多くの場合、人は横のものさしの方ばかりを見てしまいがちです。

〇〇君に比べて、ぼくはまだまだだなぁ。

一所懸命やったけど、〇〇さんとは全然違う。

こうした横のものさし自体は悪いわけではありません。

が、そればかりを見て後ろ向きになってしまうことは、自分の力にフタをする事につながります。

ですから、特に大切なのは、縦のものさしで自分の姿を振り返ることです。

縦のものさしとは、他人との比較ではなく、過去の自分との比較です。

1年生最初の頃を思い浮かべて、今の自分と比べてみましょう。

しかし、こう声をかけてみても、人は中々以前の自分からの変化や成長には気づけません。

繰り返しますが、成長や変化はゆったりとしたスピードで進むため、ともすれば何も変わっていないようにも感じるからです。

その時に、重要なのは周りからの“声かけ”だといいます。

変化は、自分より周りの方が往々にしてよく分かります。

以前読んだ本の中に「子どもへかける大切な言葉」という項がありました。

その中で、「最も大切な言葉」として紹介されていたものがあります。

簡単でシンプルな言葉ですが、私は読んで妙に納得させられました。

それが、「成長したね」という一言です。

「すごいね」「がんばったね」という、その瞬間瞬間を切り取った褒め言葉も一定の意味はある。しかし、一番大切なのは、その子の変化や成長を認めてあげる「成長したね」という一言なのだといいます。

加藤先生の手紙を読みながら、私もそのことに改めて気づかされました。

ついつい今の姿を当たり前のように思ってしまうと、今までの変化や成長が見えにくくなってしまいます。

毎日着実に成長を続ける子どもたちの「足跡」を見て、縦のものさしを大事に毎日褒め続けていきたいと思えます。

おうちの方に置かれましては、本日もオンライン授業のサポートはじめ、多くのご協力を誠にありがとうございました。

[1 学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](#)